

ナトコ映画上映会

『GHQ／CIEによる教育映画と公衆衛生』

✨ 第二次大戦後に設立された
日本の保健所の歴史を学びます ✨



日時：2025年11月2日（日）12:30～13:30



会場：帝京大学 板橋キャンパス 臨床大講堂



解説：千葉大学名誉教授 長澤 成次

主催：第40回 日本国際保健医療学会学術大会

協力：日本公民館学会、NPO法人 SDGsいたばしネットワーク



入場料：無料(市民公開講座)

申込：第40回日本国際保健医療学会 事務局

<https://www.pco-prime.com/40jagh/registration.html>

QRコードも利用可能です。



ナトコ映画とは？

ナトコ映画（正式名称：日本映画社〈Nippon Eiga-sha、通称：NATCO〉が製作した映画）は、戦後の占領期にGHQ（連合国軍総司令部）のCIE（民間情報教育局, Civil Information and Education Section）の指導のもと製作された教育映画シリーズです。

GHQ／CIEと公衆衛生映画

戦後の日本は衛生状態が悪く、伝染病や栄養不良などの課題が深刻でした。GHQのCIEは「民主化」と「国民の健康改善」を目的に、映画を通じて国民への教育を行いました。

テーマは公衆衛生、栄養、予防接種、結核対策、母子保健、環境衛生など多岐にわたります。

映画は保健所や公民館で上映され、識字率に関係なく視覚的に理解できることから、戦後教育・健康普及の重要な手段となりました。

今回の上映の意義

「ナトコ映画」は戦後日本における保健所制度の普及と国民健康教育の原点を記録しています。映像を通じて、公衆衛生の歴史を振り返ることで、現代の地域保健や国際保健の課題を考えるきっかけとなります。

専門家の解説とともに上映することで、歴史的資料としてだけでなく、今日的な学びを共有します。

